

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	青森県立さわらび療育福祉センター		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 27日		～ 令和7年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスの支援を行うスペースが比較的広い。	車いすからマットに降りて過ごすなど、リラックスできる空間を確保できる。	・視覚化を取り入れていく。 ・安全点検を行い、事故防止に努める。
2	利用児童と職員が1対1で支援することができる。	その日利用する児童の、受け持ちの担当を決めて支援している。	支援プログラムに沿って、5領域、4つの活動をバランス良く取り入れた活動を提供する。
3	ご家族との信頼関係が構築されている。	受容的な態度で保護者と接している。家族とのやりとりの内容を職員間で共有し、要望等があれば検討して対応している。	家族の思いを尊重しながら支援し、行事などの交流を通して保護者との信頼関係をさらに築いていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・迎いのサービスがないこと。 ・帰りも自宅近隣施設までであること（自宅までの送迎）	①事業所の立地場所が、市街地から遠く時間がかかる。 ②現在利用している方が比較的遠方である。 ③送迎使用車両が1台しかない。 ④スタッフの人数や勤務体制。	今後の課題として検討する。
2	個別に過ごせる部屋や静養室がない。	当施設が放課後等デイサービス用に設計されていない。	パーティションなどで部屋を仕切るなど、配置の仕方を工夫して個別スペースを確保していく。
3	入浴サービスがない。	入浴サービスを行う設備やスタッフが整っていない。	今後の課題として検討する。